

種子島に於ける風水害年表 (2)

番号	西暦	年号	年月日	太陽暦 月日	種子島家々譜による	日本台風資料による
13	1782	天明 2.	7. 15	9. 23	大風洪水倒家75	天明 2年 7月18日 江戸, 風雨, 金地院雑記, 台風調査報告
14	1806	文化 3.	7. 18	9. 2	中之郡大風倒家92	文化 3年 7月20日 江戸, 大風, 金地院記録
	1812	文化 9.	6. 10	7. 18	大風傷木	
15	1815	文化 12.	7. 4	8. 8	大風	文化12年 7月 6日 土佐, 播磨, 美濃諸国大風雨, 台風調査報告浦伏一札諸書
	1824	文政 7.	12. 3	1. 21	大風洪水茎永村岸崩 5名庄死	
16	1825	文政 8.	8. 13	9. 25	大風破船 2	文政 8年 8月14日 沖縄島大風高潮
	1827	文政 10.	11. 3	12. 20	旋風	
17	1828	文政 11.	8. 9	9. 17	旋風広30丈現和村大峯, 本立, 葛蒲平, 国上村倒家13	文政11年 8月 9日 九州山陰諸国, 大風雨洪水, 宝曆現来集, 杵島郡高潮災害志, 甲子夜話統篇
	1832	天保 3.	8. 18	9. 14	大風一島傷 2, 田園 1, 倒家90	
	1833	天保 4.	8. 20	10. 4	大風洪水, 松寿院夫人 200両恤窮	
	1835	天保 6.	5. 14	6. 10	大風庄死 1	
18	1836	天保 7.	7. 7	8. 18	西風大吹風又甚大船1艘灘破西之表花里崎同平山村海涯5放余西之村角倉崎18端余島間稻子浦艦船2難破	天保 7年 7月 9日 江戸風雨, 東京市史稿
	1844	天保 15.	10. 9	11. 19	雷震雹	
19	1849	嘉永 2.	7. 9	8. 26	自此月11日迄大風禾稼損失	喜永 2年 7月10日 四国諸国, 大風洪水, 日本災異史, 讃岐災異年表, 伊沢村史, 靈憲候簿
	1850	嘉永 3.	8. 15	9. 20	大風倒壊家尾 732	
20	1857	安政 4.	7. 29	9. 17	大颶在諸船皆覆没陸上所置八幡丸掀舞數因而敗壊	安政 4年 7月29日 摂津国, 大風雨, 西都郡史, 大阪府誌
	1869	明治 2.	8. 15	9. 20	大颶	

視程と視距離

藤本成男

似たような言葉であるが視程 (visibility) と視距離 (visual range) とは、どんなところに差があるのだろうか。

Glossary of Meteorology によると、視程は昼間の場合には空を背景とした比較的暗い物体、夜間は強さのわかっているなるべく集光性のない光源を対象物として、肉眼で見ることができしかもそれがどのようなものであるかを識別できる最大距離をいい、視距離 (これは気象の部門ではあまり使われないが、航空関係ではよく使われる) は、日光のもとで特殊な形の目標物とその背景との対照が観測者の識別能力の限界に等しくなる距離で、これは大気の減衰係数、目標物のアルベドと視角お

よび観測時における観測者の識別能力の関数である。

これだけでは視程と視距離とのちがいが、わかったようにいこうわからないというところであろう。ちがいという点に重きをおいて視程と視距離とを比較してみると、根本的には対象となる目標物の性質と背景の二点にあると思われる。すなわち、対象となる目標物の性質としては視距離の場合にはとくに条件はないが視程は自分を光を出さずまた光をあまり反射しない、つまり反射能の小さいものであること、背景については視程の場合目標物の方向の空をとっているが、視距離の場合には空に限らず周囲のものが背景になるので、そのとき、場所によって条件がちがうわけである。(気象庁予報課)